

”未来を切り開く”不登校であるために！

2023.6.28(水)

学校へ行かないことの意味

学校とは、未来を切り開いていく力を身につけさせてくれる場所です。

すると、学校へ行かないということは、

- ・未来を切り開く力を手に入れることができなくなる、という意味でしょうか。
- ・輝かしい未来への扉を自らの手で”閉じる”という意味でしょうか。

ただ、学校へ行かないで無為に日々を送っているだけであれば、そうなるでしょう。

学校と同じ役割を果たしてくれる場所はある！

しかし、未来を切り開いていく力を身につけさせてくれる場所は学校だけではない、という事実に注目しましょう。

自分の学びたいことを学び、やりたい仕事をやり、楽しい家庭をもち、お互いを高め合う多くの友人をもち、人々を幸せにする充実した日々を送っていく自分の未来を想像してみてください。

これが、今の自分の努力次第で手に入れることのできる未来です。

このような未来を手に入れる“力”を育ててくれる場所があります。

フリースクールでも子ども食堂でもなく、”学習塾”です。

ただの不登校から”未来を切り開く”不登校へ

むかしから一人前になって社会へ出ていくには、”よみ、かき、そろばん”が必要な力であると
言われてきました。

これを現代風に言い換えれば、”国語、数学、英語”となるでしょう。

これらが、現代社会で一人前になって社会へでているのに必要な能力なのです。

これらの力をもっていれば、

- ・将来、自分が学びたいことを学べるし、
- ・自分がやりたい仕事もやれるし、
- ・困難も自分の力で切り開いていけるし、
- ・周りの人達を幸せにしてあげることもしるようになります。

不登校のときには、音楽を聴いたり、ゲームをしたり、映画を見たり、本を読んだりなどは、
登校時に比べてより多くの時間がとれます。

それはそれで”人間性を豊かにする”ための大切な活動ですから続けて下さい。

しかし、ただの不登校から”未来を切り開く”不登校にするためには、これらの活動とは別に、

未来を切り開いていくツールとなる”国語，数学，英語”の基礎学力を手に入れる学習をしなくてはなりません。

何を学習すべきか

では，学校の指導を受けないで，
国語，数学，英語の何を，どのように学べばいいのでしょうか。
数専ゼミの具体的な学習プログラムを紹介しましょう。
数専ゼミでは，**国語と数学と英語**を，次のように考えています。

国語と数学と英語は，生きるのに必要ないろいろな情報を得るためのツールである。
国語と数学と英語を学んでおけば，将来，必要なことを，必要なときにいつでも
自分の力で学び取ることができる。

数専ゼミでは，それぞれの教科では，次のような学習プログラムで指導します。

- (1) 算数・数学…教科書のもくじにそって，前から順に学習します。
教材は数専ゼミで用意します。系統的に構成された教材を使います。
基本から小さなステップで少しずつレベルを上げていく教材なので
だれでもきちんとした学力を身につけることができます。
解けなかった問題は，再学習し，きちんと解けてから次のステップの教材を学習するシステムになっています。だから，学力に穴が開くことはありません。
- (2) 国語 漢字・語句，文法，作文（自由作文），読解の学習
 - 【漢字・語句】…教科書で扱っている単語・語句はすべて使えるようにします。
学習する漢字や語句は，塾が教科書にそって出題します。
 - ・テーマの漢字・語句を含む文を作る。（意味と使い方を覚えるためです）
 - ・10回書くドリル。（形と読み方を覚えるためです）…自宅学習です。
 - 【国文法】…正しい日本語を使うことができるようにするツールです。
読解や作文の基礎学力になります。
 - 【作文】…自分の身の回りから問題を見つけ，それを観察し，資料を調べ，自分の意見をまとめる学習です。社会へ出ると必ず必要とされる能力です。
自宅で書いてきて，塾へ提出し，添削を受けます。
 - 【読解】…人の書いた文章の内容を正確に読み取るツールの学習です。
これも，社会にでたら最初に要求される能力です。
また，小説を楽しんだり，詩・短歌・俳句を楽しんだり，自分で作ったりするときのツールとなります。

国語教材は数専ゼミで用意します。系統的に構成された教材を使います。
- (3) 英語 単語・語句，文法の学習
 - 【単語】…教科書で扱っている単語・語句（1800語ほど）はすべて使えるようにします。
学習する単語は塾が教科書にそって出題します。
 - 【文法】…英文の意味をとったり，自分の考えを英語で表現するときのツールです。
文法のテーマは，教科書に沿って，前から順に学習します。
教材は数専ゼミで用意します。系統的に構成された教材を使います。
暗記ではなく，英文を組み立てる規則を使って，英文の意味をつかんだり，自分

の考えを英語で表現する練習をします。

英会話ができなくとも、読めたり、書けたりすれば、活動の範囲をはるかに広がります。英文の小説や論文が読めます。

レポートや論文が書けるようになります。

* 英会話については、近い未来に”同時翻訳機”の精度があがり、英会話がまったくできなくても、日本語を使ってほぼ完璧な会話ができるようになると思われれます。

正確で、豊かな内容をもった日本語を話せることの方が大切になります。

- (4) 理科や社会などの教科については、国語、数学、英語の力がつけば、資料（教科書や参考書や問題集）を使って自分の力だけで学びとることができます。数専ゼミでは、学習しやすい参考書や問題集を紹介しますので、自宅で計画的に学習を進めて下さい。
- (5) 以上のようにきちんと学力を身につけておけば、学校へ戻りたくなったとき、いつでも学力の心配なく戻れます。
- 一度、不登校になって戻れなくなる原因のひとつが学力の遅れであるといわれていることに鑑みるならば、学校へいかない間でも、学校へ行っている人達と同じ内容とレベルの学力を身につけておくとは有益なことに思われれます。

どこで学習すべきか

数専ゼミの指導の概要を紹介しました。

学校にまけない、いや、学校以上にきちんとした、きめ細かな学習計画にもとづく指導であることがわかると思います。

確実に基礎学力を身につけさせることに全力をあげる学習指導システムとなっております。

フリースクールやこども食堂でもいいのではないかと思われれますが、

このような体系的な指導を受けることは無理です。

専門家がいるわけではないからです。

また、学習塾ならどこでもいいというわけではありません。

テストの点数で生徒を競争させる指導が中心の学習塾ではダメです。

学習・指導方法について

数専ゼミの学習指導は、

- (1) 学校のような点数で順番を競う学習ではありません。
- 具体的な到達目標を設定し、それが達成できるように学習を指導します。
- * 到達目標とは、点数ではなく、習得すべき知識や技術のことです。
- たとえば、「方程式の文章題（速さで、鉄橋算）が解ける」とか
「1次関数のダイヤグラム（往復する問題）が解ける」等々。
- (2) 個別指導といっても、生徒と先生が1対1では気詰まりでいやだ、という人もおります。
- 数専ゼミでは、
教室には3～4人の生徒が塾の教材を使って自分で勉強をしています。

教えるときは個人別の指導になります。(集団授業やグループ指導はありません。)

(3) 学習計画があります。

各單元ごとに、解けるようになるべき問題の項目(学習目標)を一覧表にしてあります。自分は、この單元ではどんな問題が解ければいいのかが一目で分かります。

サンプル 中1数学・方程式 → [Link | 学習計画書 |](#)

中3英語・文型(4) 主語+動詞+目的語+補語 → [Link | 学習計画書 |](#)

(4) ”教え込む”指導ではなく、

生徒自身が自分の力で知識・技術を学び取る学習を支援する指導です。

問題を解くための参考資料は、すべて数専ゼミで用意します。

教科書とか、参考書などは不要です。(英語の辞書は自分で用意して下さい。)

(5) 塾のない日でも教えてもらえます。

家で自分で勉強していて、解けない問題がでてきたとき、

FAXやスマホを使って塾の指導を受けることができます。

→ [Link | FAX・スマホ質問指導 |](#)

(6) 数専ゼミでの受講教科は、1教科でも2教科でも3教科でも自由です。

まず、できるところから始めてはどうでしょうか。

フリースクールや子ども食堂について

フリースクールでも子ども食堂を否定しているわけではありません。

逆です。これらへは積極的に参加していくべきです。

しかし、これらは学習塾とは別な役割をもった場所で、

いわゆる、”社会性の涵養”を目的とする組織といえます。

フリースクールや子ども食堂に学力の向上を期待しては”筋違い”です。

無料体験学習から始めてはいかがですか？

数専ゼミでは、無料で体験学習をすることができます。

塾からは個人情報は一切お聞きしません。安心して受講できる体験学習です。

こんな学習ならやってみたいと思ったら、入塾して下さい。

→ [Link | Essay_308 無料体験学習をどうぞ |](#)

まず、お電話でご相談からどうぞ…

”未来を切り開く”不登校であるために！

数専ゼミ・山形東原教室

〒990-0034 山形市東原町二丁目10番8号

TEL: **(023)633-1086** / FAX: (023)633-1094

メールアドレス: suusen@seagreen.ocn.ne.jp